組合等活性化情報誌

へんしも情報

2026 11 vol.307

Contents

1 **見てみて！うちの女性団体（(株)十和おかみさん市）**
3 高知女性団体交流プラットフォーム「ねえやんの会」のご案内
4 組合運営管理セミナーのご案内
5 インドネシア人材視察報告
6 高知県からのお知らせ（文化生活部）
7 中央会事業レポート（「出張版大おかみさん市」開催報告）
8 ものLABOレポート
9 青年中央会情報“雄飛“
10 高知県からのお知らせ（商工労働部）
11 組合いんふぉめーしょん
13 県内各業界の動向（2026年9月）

人を継（つな）ぎ、組織を育む **高知県中小企業団体中央会**
TEL：088-845-8870　E-mail：info@kbiz.or.jp

ウェブでもへんしも！
これまでの記事はこちらから
HP:https://www.kbiz.or.jp/









見てみて！うちの女性団体！

高知女性団体交流プラットフォーム「ねえやんの会」会員団体をご紹介！

株式会社十和おかみさん市

地域の味を守り、仲間とともに歩んだ26年

十和おかみさん市の始まり

私たちは、四万十町十和地域で、地元で採れた農作物や手作りのお弁当・お惣菜などの販売を行っています。

活動の始まりは、旧十和村時代の平成13年のことです。当時、全国的に地産地消の取り組みが広がっており、旧十和村でもその取り組みを進めようと動き始めていました。そこで村長が声をかけたのが、地域の“おかみさん”たちです。ここから、任意団体としての「おかみさん市」の活動が始まりました。

発足当初の活動は、地域で採れた農作物の地元の直売所での販売や高知市内のスーパーでの出張販売、地元の学校給食への食材の提供でした。

活動をしていくうえで必要な費用は、旧十和村からの支援を受けていましたが、平成18年の町村合併を機にこれまで通り支援を受けることが難しくなりました。これからどうしていこうかと悩んだ末、私たちは「自分たちの力でやっていこう」と決意し、自立した運営に向け動き出しました。

しかし、私たちは地域の“おかみさん”なので、経営や組織に関する専門的な知識はなく、どのような形で事業を続けていけばよいのか、分からないことばかりでした。行政や周囲の方々にも相談を重ねていき、株式会社として自立することを決めました。周りの方からは「本当に経営していけるのか」と心配されましたし、私たち自身も不安がありましたが、「誰かに頼るのではなく、自分たちの力で活動を続けていきたい」というメンバーの思いは揺るぎませんでした。

こうして、メンバー同士で何度も話し合い、周囲のアドバイスも受けながら、平成23年に「株式会社十和おかみさん市」として新たなスタートを切りました。これまでなかった自分たちの販売拠点となる直販所「十和の台所」も、役場の協力も得ながら整備しました。これをきっかけに、地元の食材を使ったお弁当や惣菜などの製造・販売にも取り組み、活動の幅を広げていきました。

地元の味が大人気！「おもてなしバイキング」

私たちの名前が県内外多くの方に広まるきっかけとなったのが「道の駅四万十とおわ」で提供していた「おもてなしバイキング」です。

平成19年に道の駅が開業したばかりの頃、当時、道の駅を運営していた会社から「食堂で週1回、料理を提供してほしい」と声をかけてもらいました。そこで、普段の食堂ではないスタイルのバイキングという形で地元の食材を生かした料理を提供することになりました。



▲「おもてなしバイキング」の様子

どのような料理を提供するか話し合いを重ね、昔から各家庭で作り継がれてきた家庭料理や郷土料理を提供することに決めました。当初は、他にはない珍しいメニューを考案することも検討しましたが、「せっかくなら、お客さんに私たちの一番の得意料理を味わってもらいたい！」という思いから、普段から作り慣れた料理を提供することにしました。

メンバーの多くは農家の主婦だったため、それぞれの家庭で育てた旬の野菜や果物を持ち寄って、それを生かしたメニューを考えました。採れたての農作物を使った素朴な家庭料理は意外にも評判を呼び、高知市内や愛媛県などから毎週のように足を運んでくださるお客さんもいたほどです。自分たちにとっては当たり前だった家庭の味が、多くのお客様に喜んでいただけることは大きな自信となりました。

バイキングで提供するお料理のなかでも人気を集めたのが、地元産の原木椎茸を使った「椎茸のたたき」です。家庭で親しまれてきた料理の一つでしたが、いつしかこれを目当てに訪れるお客さんがいるほどの看板メニューになりました。また、お客さんからは「このたたきのタレを家でも食べたい」という声を多くいただき、商品化して「十和の台所」で販売を始めました。

すると、想像以上の人気となり、製造が追いつかかなくなったため、製造を外部に委託することにしました。これまで、長年の経験を頼りに目分量で作っていたタレを「道の駅四万十とおわ」の協力を受けな



プロフィール

設　立	平成13年結成、平成23年法人化
活動拠点	四万十町十和地区
活動メンバー	18名(加工部)
主な活動	地場産品を生かしたお弁当や加工品の製造・販売、野菜など農作物の販売
代表取締役	居長原信子氏



代表取締役
居長原信子（いちょうはら のぶこ） 氏

がらレシピ化し、何度も試作を重ねて昔ながらの味を量産することができました。そして、昨年から「万能調味料 たれ一（いち）」として、「道の駅四万十とおわ」をはじめとする県内の道の駅などで販売しています。

約15年ほど続けてきたバイキングは、現在、道の駅の若手スタッフに引き継がれています。令和2年から約3年間、私たちも一緒に厨房に立ち、料理の作り方や味付けを伝えてきました。こうして、私たちが長年大切にしてきた地元の味が、次の世代へと受け継がれていることを、とても嬉しく思います。

仲間の笑顔が元気の源!
地域とともに続ける活動

活動を始めたころから私たちが大事にしていたことに、個人ではなくグループ単位で活動するということがあります。1人では、途中で「やめたい」などという気持ちが出てきますが、グループなら、仲間同士で助け合いながら活動を続けられるからです。

発足当初は、18集落ごとにグループを分けて農作物の販売などの活動をしていましたし、今でも、お弁当づくりは3～4名ずつのグループが週替わりで担当しています。グループごとに個性があり、お弁当一つとっても、それぞれの特色が見られるのが面白いところです。また、グループで活動することで、仲間同士の結束力が強まるだけでなく、お互いに迷惑をかけないよう、一人一人が責任を持って取り組むようになりました。こうした仲間とのつながりが、長年にわたって活動を続けてこられた大きな理由の一つだと思っています。

活動を始めて26年が経ち、高齢化も進んでいますが、80代半ばになっても元気に活動を続けているメンバーがいます。大量のお弁当の注文が入ったときには、午前2時から作業を始めることもあり、決して楽な仕事ではありません。皆、「しんどい、しんどい」と言っていますが、仲間と顔を合わせれば自然と笑顔になり、和気あいあいと作業を進めています。大変な時もありますが、それ以上に、みんなで集まり、楽しく活動できることが原動力になっているのだと思います。

長年活動を続けてきた私たちにとって、課題は担い手の確保です。以前は後継者をどう育てていくか悩んだこともありましたが、今は必ずしも私たちの活動をそのまま引き継いでもらう必要はないと考えています。私たちの活動を見た若い人たちが、自分たちなりの新しい形で活動を引き継いでくれたらそれで幸せなことです。

これまでは、決して順風満帆ではありませんでした。それでも、地域にあるものを大切にし、仲間と支え合い、知恵を出し合いながら、活動を続けてきました。

これからも、無理をせず、自分たちらしく活動を続けていきたいと思います。そして、私たちが大切にしてきた地域への思いが、形を変えながらも次の世代へつながっていくことを願っています。



▲「十和の台所」に並ぶ商品

これ知っちょいて！
HENSHIMO information

大人気！ 万能調味料「たれ一（いち）」

記事内でも紹介している十和おかみさん市オリジナル調味料「たれ一（いち）」！
私たちがバイキングで提供していた椎茸のたたきはもちろん、サラダのドレッシングとしてもお刺身にも合う万能調味料です。
直販所「十和の台所」の他、「道の駅四万十とおわ」でもお買い求めいただけます！ぜひ一度ご賞味ください♪



販売場所
・**十和おかみさん市直販所「十和の台所」**（高岡郡四万十町十川203）
・**道の駅 四万十とおわ**（高岡郡四万十町十和川口62-9）

<お問い合わせ先> 道の駅 四万十とおわ　TEL:0880-28-5421

会員団体募集!

高知女性団体交流プラットフォーム「ねえやんの会」のご案内

活動内容

学び・交流・連携を3本柱に活動をしています！

- **学び** 交流・連携を促進するための情報提供と場づくり
- **交流** 他団体の理解と友好を深めるための交流促進
- **連携** 団体間のマッチング

会員資格

地域経済の活性化を図ることを目的に、高知県内で女性を中心として活動する団体。業種不問。※入会金・会費は無料です

現在の会員団体（27団体）※順不同

- ●高知おかみさん会（高知市）
- ●四万十市商店街振興組合連合会女性部 四万十玉姫の会（四万十市）
- ●とさし旬物クラブ（土佐市）
- ●大川村集落活動センター結いの里（大川村）
- ●集落活動センターあわ（須崎市）
- ●JA高知県幡多地区女性部西土佐支部（四万十市）
- ●土佐三原どぶろく合同会社（三原村）
- ●株式会社とおわ（四万十町）
- ●佐川町商工会女性部（佐川町）
- ●四万十町商工会女性部（四万十町）
- ●株式会社池川茶園（仁淀川町）
- ●よりくんど（梼原町）
- ●高知ものづくりLABO（高知県全域）
- ●甲浦集落活動センターなぎ（東洋町）
- ●土佐茶普及促進女性会議（高知県全域）
- ●梼原町集落活動センターおちめん チームシルク（梼原町）
- ●JA高知県女性部安芸地区安芸支部 なすっこ組（安芸市）
- ●日高村商工会女性部（日高村）
- ●大豊地区農漁村女性グループ研究会（大豊町）
- ●集落活動センターうらのうち あおぞら（須崎市）
- ●株式会社十和おかみさん市（四万十町）
- ●有限会社カネアリ水産「カネアリ女子部」（田野町）
- ●集落活動センター汗見川（本山町）
- ●企業組合せいらん（津野町）
- ●香南市商工会女性部（香南市）
- ●くさぶき（梼原町）
- ●企業組合であいの里（四万十町）

詳細・ご入会については、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

高知女性団体交流プラットフォーム「ねえやんの会」事務局

高知県中小企業団体中央会（担当:野口  ）

TEL:**088-845-8870** FAX:**088-845-2434** E-mail:**noguchi@kbiz.or.jp**

高知県中央会

高知県中央会では、中小企業組合や中小企業の経営に役立つ情報をメールマガジンでタイムリーに配信しています。

メールマガジンに登録しませんか？

役立つ情報をいち早くお届け！



助成制度

本会、他機関のセミナーやイベントなどのご案内

国・県などの施策・制度情報

経営のお役立ち情報

毎月15日発行＋随時配信！

登録はこちら

組合運営管理セミナーのご案内
―組合等人材育成事業―

参加者募集！
無料

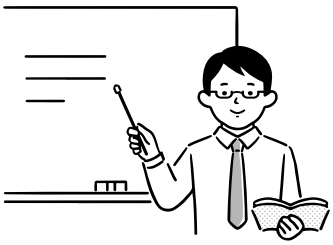
本会では、会員組合の皆様に適正な組合運営管理に役立てていただくため、組合制度の基礎、総会後の諸手続き、届出･申請･登記手続き等のポイントなどについてのセミナーを開催いたします。

ぜひこの機会に奮ってご参加ください。

【開催日時】 **12月4日（金） 13時30分～16時**

【開催場所】 高知県中小企業団体中央会 研修室（高知市布師田3992-2）

【研修概要】 ①組合制度の基礎
②年度末から通常総会後の諸手続
③組合が行う届出･申請･登記手続き等のポイント



【講　　師】 中央会指導員（武田・野口）

【募集人員】 20名 ※先着順（オンライン受講可能）

【申込締切】 **11月27日（金）**

【申込方法】 参加申込書もしくは参加申込フォーム（二次元コード）より
お申し込みください。

申込サイト

【申 込 先】 URL：https://www.kbiz.or.jp/r8_unei/

お問い合わせ先 高知県中小企業団体中央会 連携推進部
TEL：088-845-8870　FAX：088-845-2434
E-mail：takeda@kbiz.or.jp

<担当> 連携推進部　武田　野口

メリット1 高めの金利設定 ※当金庫内比較
メリット2 固定金利の半年複利
メリット3 選べる期間 1年･2年･3年

定期預金
個人のお客さま向けの マイハーベスト

人を思う。未来を思う。
商工中金 高知支店 088(822)4481 〒780-0870 高知市本町 4-2-46

インドネシア人材視察
視察報告

9月3日から8日までの6日間、本会主催によるインドネシア共和国（スラバヤ・マラン・ブカシ・ジャカルタ）視察を、介護・運輸・製造業などの県内事業者とともに実施しました。外国人技能実習生・特定技能人材の活用が広がるなか、現地の送出機関や職業訓練校、日本語教育の現場を訪問して人材育成の実態を調査したほか、国立大学で開催されたジョブフェア・インターンシップフェアに参加し、学生との交流を通じてインターンシップや高度人材としての活用の可能性を探りました。

インドネシアは国民の大多数がイスラム教徒ですが、憲法上は政教分離が徹底されており、イスラム教を国教とはしていません。東ジャワ州は国内でも宗教的に寛容な地域とされ、飲酒の規制も西ジャワ州やスマトラ島等と比べ緩やかです。



在スラバヤ日本国総領事館・交流レセプション

4日午前は、在スラバヤ日本国総領事館の総領事らとのランチミーティングで、東ジャワ州の概況についてブリーフィングを受けました。公表されている失業率は約4%と低いものの、オンラインタクシーや配達、季節労働などのインフォーマルな就労は統計に反映されにくく、1日当たりの所得が概ね1,000円程度を下回る貧困層が人口の約6割を占めます。経済面でもルピア安・株安が進行しており、こうした所得水準や雇用環境が、若者の海外就労志向の高さにつながっています。総領事館からは、まだ、本県以外の日本の自治体が東ジャワ州と本格的に人材交流に取り組んでいないとの説明もあり、先行して関係を築く意義は大きいといえます。

また、夜には、総領事公邸で本県と現地関係機関との交流レセプションが開催され、東ジャワ州政府関係者や送出機関の皆様と交流を深めました。


ランチミーティング

職業訓練校「PJTKI プリマ・デュタ・スジャティ」

4日の午後は、1999年設立でインドネシア政府の認定を受けた送出機関・職業訓練校「PJTKI プリマ・デュタ・スジャティ」を訪問し、教育体制について説明を受けました。日本への送出実績は2026年7月時点で累計2,648名にのぼり、技能実習修了者の8～9割が同じ企業または他企業で特定技能として就労を継続しています。インドネシアでは、高卒・大卒者の就職率が低く、定職に就いても月給2万円ほどであることから、在籍する約400名のうち約200名が日本について学ぶなど、海外志向が強まっています。入校前には筆記試験と面談を行い、IQ・計算・体力テストなど複数段階の選考を実施しているほか、入国後は母国語で対応する24時間の相談窓口も設置しています。介護の実践訓練や溶接、フォークリフト、自動車整備の実習が本格的な設備で行われており、海外に行く覚悟をもって訓練に臨んでいました。2027年に予定される育成就労制度への移行を見据え、入国前にN5相当の日本語能力を取得させる教育も進めており、制度の変更に対応できる送出機関は、受入れ企業にとって頼りになる存在となります。県内事業者との協議では、同校の敷地に自動車学校を建設し、ドライバー人材を育成する構想も出ています。




職業訓練の様子

国立ブラビジャヤ大学 ジョブフェア・インターンシップフェア

5日は、国立ブラビジャヤ大学日本語学科でジョブフェア・インターンシップフェアが開催され、本県と参加各社が会社紹介を行いました。卒業生・在学生約70名が各社のブースを訪れ、キャリアを積むためにインターンシップを希望する学生が多く見られました。日本語学科の教員からは、他県のインターンシップもあるなかで高知県の人気が一番高いとの言及がありました。卒業生のなかにはN1・N2レベルの日本語能力を持つ人材もおり、各社に積極的にアピールする姿が見られ、高度人材としての採用を検討する事業者も複数ありました。今後は各社が直接コンタクトを取るほか、本会を通じてインターンシップの募集・面接を進めていきます。インターンシップや高度人材を入口とした採用は、技能実習・特定技能に加えた新たな人材確保の選択肢となります。




ジョブフェア会場・企業ブース、学生との交流の様子

送出機関「SJIグループ サハバット・ジャパン」


送出機関での実習（介護）の様子

6日は、送出機関「SJIグループ　サハバット・ジャパン」を訪問し、職業訓練と日本語教育の様子を視察しました。インドネシア国内に6校を展開し、これまでの送出実績は1,225名、うち1,100名が現在日本で就労しています。介護を中心に農業・ビルクリーニングなどにも人材を送り出しており、有名なインドネシアの大学と提携した介護人材の育成にも取り組んでいます。入校後2カ月間のスクリーニングを行ったうえでマッチングと再教育を実施し、教育期間は8カ月程度と長く、N4レベルの資格を有する学生が出国できるように研修を行っています。日本人講師2名が日本語教育を担当し、介護教育は日本での介護就労経験を持つインドネシア人講師が担う体制で、渡航前には介護・食品製造の実習も実施しています。入国後もフォローアップ体制を整え、トラブルが生じないよう継続的にサポートしており、受入れ後の定着を支える仕組みが確認できました。


食品製造実習の様子

なお、視察４日目の9月7日は、火山噴火の影響で航空便が欠航となったため、自動車教習所、送出機関・日本語学校およびプルタミナ大学の視察は残念ながら中止となりました。



今回の視察では、現地の日本語教育や職業訓練が他国と比べて質の高い水準にあり、即戦力となる優秀な人材が日本での就労を待ち望んでいることを確認できました。ブラビジャヤ大学では、学生から積極的な質問やアピールが寄せられ、インターンシップに対する高い熱意を肌で感じることができ、高度人材の採用を検討する事業者も複数ありました。在スラバヤ日本国総領事館からは、高知市と姉妹都市であるスラバヤ市との交流を基盤に、人材交流を活発化させる余地が大きいとの示唆も得ています。人手不足に悩む中小企業にとって、現地の教育体制や学生たちの熱意を自らの目で確かめることは、会社を支える優秀な人材の採用に繋がるポイントです。本会としても、県内企業のインドネシア人材、特に高度人材のニーズを掘り起こし、活用を促進できるよう支援を行ってまいります。

本会では今後も、県と協力しながら会員企業の海外人材活用を後押しする視察機会を積極的に企画してまいります。今後もぜひ多くの会員の皆様にご参加いただければと思います。

高知県からのお知らせ

犯罪被害からの回復を支援する職場での取り組みについて



誰もがある日突然、犯罪被害者になる可能性があります。犯罪による被害は、命を奪われる、ケガをする、物を盗まれるなどの直接的な被害だけではありません。

- ●事件に遭ったことによる精神的ショックや身体の不調
- ●医療費の負担や失職、転職などによる経済的困窮
- ●捜査や裁判の過程における精神的、時間的負担
- ●ＳＮＳなどネットでの誹謗中傷や周囲の人の無責任なうわさ話や、マスコミの取材、報道による精神的被害

など、「二次被害」が生じることも大きな問題です。

こうした被害を少しでも軽減し、被害から早期に回復するためには、犯罪被害者の方々が仕事を続けられることがとても重要です。

そのためには、年次有給休暇だけでなく、被害回復のための休暇制度の導入が求められています。

（例１）勤務の変更や調整
（例２）既存の特別な休暇制度を活用
（例３）必要な休暇を付与する旨を社内広報等で周知

各事業者の皆様におかれましても、状況に応じた取り組みをご検討いただき、職場環境の整備にご協力をお願いします。

お問い合わせ先　**高知県 文化生活部 県民生活課 犯罪被害者等支援担当**　TEL:088-823-9319
高知労働局　雇用環境・均等室　TEL:088-885-6041

中央会事業れぽーと

出張版大おかみさん市 in 四万十市を開催しました！

「出張版大おかみさん市」とは…？

『高知女性団体交流プラットフォーム「ねえやんの会」』（以下「ねえやんの会」）の会員団体が出店し、毎年3月に高知市の壱番街商店街で開催している「大おかみさん市」を、県内各地の会員団体の活動拠点に“出張”して開催するイベントです。

10月16日（金）・17日（土）の2日間、四万十市の天神橋商店街で「出張版大おかみさん市」を開催しました。

今回は、「ねえやんの会」会員の四万十市商店街振興組合連合会女性部「玉姫の会」のメンバーが活動の拠点としている同商店街で毎年開催されている「天神橋おかみさんまつり」に「ねえやんの会」の会員3団体が出店するはこびとなりました。当日は秋晴れに恵まれ、家族連れをはじめ、老若男女多くのお客さんでにぎわいました。

出店団体は、商品の販売を通じて地域住民との交流を深め、また、来街者に「ねえやんの会」の活動を知っていただく機会にもなり、地域を越えた新たなつながりが生まれるイベントとなりました。

各団体の様子

株式会社十和おかみさん市（四万十町）

ちらし寿司や赤飯、芋天など、手づくりの美味しい商品が並びました。できたての商品を求めて、イベント開始直後から多くのお客さんが訪れ、商品は午前中で完売！販売の合間には、活動拠点である十和地域の話題で会話が弾むなど、お客さんとの交流も楽しんでいました。



甲浦集落活動センターなぎ（東洋町）

高知県の東端・東洋町から、はるばる四万十市へ出店！ ブースには、主力商品の「焼き芋の干し芋」や「芋の甘煮」をはじめ、自分たちで育てたサツマイモを使った商品がずらりと並びました。四万十市を初めて訪れたという参加メンバーも、地域の雰囲気やお客さんとの交流を楽しみながら、商品の魅力を伝えていました。



土佐茶普及促進女性会議（県域）

煎茶や紅茶をはじめ、バラエティ豊かなお茶商品がブースを彩りました。会場にはお茶の豊かな香りが広がり、来場者は試飲を通じて味や香りを確かめながら、買い物を楽しんでいました。海外からの来場者に対しても、英語でお茶の特徴や楽しみ方を丁寧に紹介するなど、土佐茶の魅力を幅広く発信していました。



来年3月7日（日）には、高知市の壱番街商店街で「帯屋町大おかみさん市」を開催します！ 県内各地で活躍する「ねえやんの会」の会員団体が集まり、地域の魅力が詰まった自慢の商品を販売します。皆さまのお越しを心よりお待ちしています！



ものLABOレポート
（高知ものづくりLABO）

勉強会「第2回河合塾」を開催しました



9月18日（金）、会員企業の経営力向上や組織マネジメント強化を目的に高知銀行本店で勉強会『第２回河合塾』を開催しました。本勉強会は、高知銀行 取締役頭取 河合祐子氏を講師にお迎えし、同氏のお名前にちなみ「河合塾」と題して、昨年度より開催しています。今回は「人生曲線ワークショップ」をテーマに、講義とグループワークを行いました。

講義では、河合氏のキャリア変遷や、過去の挫折・転機による心情変化を描く「人生曲線」でお互いの背景を知り、心理的安全性を高める手法についてお話しいただきました。また、仕事に取り組む中での昇進に対する捉え方、柔軟な働き方の導入、顧客視点からの発想など、組織づくりや事業成長につながる実践的なヒントをお話しいただきました。

グループワークでは、各自が人生曲線を作成・共有し、歩みや葛藤を率直に語り合いました。対話を通じて相手への理解が深まるとともに、自身の今後や組織の課題について考える機会となりました。

今回の学びと対話を生かし、今後も会員同士の相互理解を深めながら、誰もが生き生きと働ける環境づくりや自社の成長に引き続き取り組んでいきます。

しが中小企業女性中央会との企業視察・懇談会を実施しました

10月5日（月）・6日（火）の2日間、しが中小企業女性中央会の皆様をお迎えし、企業視察および懇談会を実施しました。当団体設立前、団体運営について学ぶため同会を訪問したことをきっかけに、「次は高知へ」とのお声をいただき、今回の来高が実現しました。

5日午後から、北副会長が取締役副社長を務める高知機型工業株式会社で、会社概要の説明や工場見学を行いました。その後、本会の研修室に会場を移し、両団体の活動紹介やグループに分かれての意見交換を行い、会員同士の交流を深めました。



▲しが中小企業女性中央会との懇親会

6日は、高知城や桂浜、牧野植物園の観光をはじめ、森田副会長が代表取締役を務める洋菓子店「モンプレジール」、ひろめ市場、とさのさと・アグリコレットでのお買い物などもお楽しみいただきました。

他県団体の活動や経営について学ぶ機会が、今回の来高や交流を生み、高知の魅力発信や経済振興にもつながる有意義な2日間となりました。今後も他県団体への訪問を通じて学びを深め、自らの活動に生かしていきます。

※詳しくは高知ものづくりＬＡＢＯの公式ＨＰで報告しています。

公式 HP

お客さまの
笑顔の花を
咲かせるしごとです。

お金のこと、経営のことのほかにも、デジタル化の推進や事業承継など、さまざまな経営課題に対してその道のプロフェッショナルが解決策を提案します。信用保証協会では、経営の「今」を全力でサポートします。

高知県信用保証協会
〒780-0901 高知市上町3丁目13番14号
TEL 088-832-3261 FAX088-822-7069
URL http://www.kochi-cgc.or.jp/

.com BANK 未来ファクトリー



お客様のより良き未来を創造する「未来ファクトリー」。
ソーシャルインフラを創造する「未来ファクトリー」。
県民の方々の幸せな暮らしや事業、
安全・安心にお応えできる金融サービスをお届けします。

高知信用金庫
ドットコムバンク 検索

経営能力向上セミナー(秋の交流会)を開催しました



10月1日(木)午後5時より城西館で、経営能力向上セミナーを開催しました。

本セミナーは、限られた経営資源の中で生産性向上が求められる企業を対象に、生成AIを活用した業務の効率化や業務プロセスの見直しを通じ、企業全体の競争力向上につなげることを目的に開催しました。講師には、NTTアドバンステクノロジ株式会社の山本洋介氏をお招きしました。

セミナーでは、生成AIを活用した業務改善の考え方や導入方法について、議事録作成や問い合わせ対応、提案書作成、エクセル集計などの具体的な活用例を交えながらご説明いただきました。また、生成AIの導入にあたっては、まず一つの業務から小さく試し、効果を測定しながら業務の標準化につなげることの重要性や、情報漏洩を防ぐためのルールづくり、安全な運用体制の構築についてもご説明いただき、参加した青年部員は真剣に耳を傾けていました。

とさとーーくを開催しました



10月3日(土)、青年中央会の会員企業と高知高等技術学校の学生との交流事業“とさとーーく”を開催しました。

本事業は、会員企業と高知高等技術学校の学生との交流を通じて、相互理解を深めるとともに、学生が企業への理解を深め、将来の就職先として関心を持つきっかけとなることを目的に、毎年開催しています。今回は、同校が小学生向けに開催する、ものづくりの仕事体験イベント「ワクワクWORKキッズフェス」と同時に実施し、製造業などの青年部企業9社が参加しました。青年中央会では、ドローン体験やストラックアウト、アクセサリー作りを実施するとともに、各学科の体験イベントへの視察も行いました。各学科の視察では、学生と気軽に会話を交わし、互いの理解を深めることができました。

普段の交流事業とは異なり、学生やイベントに参加した小学生や保護者とざっくばらんな会話ができるなど、有意義な交流会となりました。

高知県中央会HPでも「へんしも情報」が読めます!



組合員への共有も、URLや二次元コードを送るだけで楽々!





バックナンバーも掲載!

▼HPからのチェックはこちらから
https://www.kbiz.or.jp/henshimo
高知県中央会ホームページにアクセスして
【中央会情報誌「へんしも情報」】のバナーから
ご覧になれます!

(二次元コード)

外国人材を雇用している・雇用を検討中の事業者の皆さまへ

こうち外国人材優良サポート事業者の紹介ページを公開しました!

外国人材が「暮らしやすい」「働きやすい」「学びやすい」環境づくりを推進するため、積極的な取り組みを行う事業者をご紹介しています。

事業者のコメント

外国人材の受け入れに際し、母国の視察や文化の理解、住居の確保、翻訳機の導入など、安心して働ける環境づくりに取り組んでいます。

自ら進んで自分の行きたい場所に出かけたり、やりたい事を積極的にやれるよう、仕事だけではなく、日本での生活を十分に楽しんでもらうようサポートを行っています。

活躍する外国人材の方々



詳しくはこちら

https://kochi-foreigntalent.pref.kochi.lg.jp/corporation/certification/certified-companies-list/

こうち外国人材優良サポート事業者認証制度の申込みはこちら!

申請期限 12月31日(木)

認証のメリット

■事業者のイメージアップ　■外国人材受入環境整備事業費補助金の補助率アップ
■県のホームページ等への掲載　■認証マークの付与(企業のPRにご活用ください。)

詳しくはこちら

お申し込みの流れ 1.電子申請 → 2.現地ヒアリング → 3.認証!

今後、認証を得ることで、優遇を受けられる補助金を増やす予定です。ぜひお申し込みください!

https://kochi-foreigntalent.pref.kochi.lg.jp/corporation/certification/



各補助制度を掲載しているポータルサイトをご覧ください!

https://kochi-foreigntalent.pref.kochi.lg.jp/

お問い合わせ先

高知県 商工労働部 商工政策課 外国人材受入推進室
TEL:088-823-9643　E-mail:151401@ken.pref.kochi.lg.jp

組合いんふぉめーしょん
KUMIAI information

四万十市商店街振興組合連合会女性部
KUMIAI information

おまち中村 超得スタンプラリー2026

四万十市商店街振興組合連合会女性部（四万十玉姫の会／乾梢部会長）では、**11月14日（土）から11月28日（土）**まで「おまち中村超得 スタンプラリー2026」を四万十市中心商店街で開催します。

期間中、スタンプラリー参加55店舗のうち5店舗で、それぞれ500円（税込）以上お買い上げいただき、スタンプを5個集めると11月28日（土）の「お楽しみ抽選会」に参加できます。

ぜひ四万十市中心商店街でワクワクするお買い物をお楽しみください！



お楽しみ抽選会

【抽選日時】11月28日（土）10時～16時
【抽選場所】一條神社 境内

＼ 今年の景品は昨年の2倍！／
景品総数 700本

【賞品例】
- **玉姫賞：商店街商品券 5万円**
- **1 等 ：商店街商品券 1万円**

他、バラエティー豊富な景品がもりだくさん！



…… 同日、コラボイベントも開催します！ ［場所］天神橋商店街アーケード内 ……

- 本の譲渡会・「図書館の歴史」展示（四万十市立図書館）
- 誰でもできる軽スポーツ体験（四万十市社会福祉協議会）
- ぽすくまがやってくる！ 年賀状の販売など（土佐中村郵便局）

★**RE:VIVE THE BEAT 四万十音楽祭**（中村警察署・中村地区地域安全協会主催　同時開催）

【お問い合わせ先】TEL：0880-35-2226（エディオン　イヌイデンキ／乾梢）

※スタンプラリー参加55店舗の情報など、詳しくは四万十玉姫の会HPをご覧ください　**四万十玉姫の会**　検索

高知県商店街振興組合連合会青年部
KUMIAI information

初開催！「秋の土曜夜市」開催中！

高知県商店街振興組合連合会青年部（堅田佳嗣会長）では、帯屋町商店街アーケード内で、「秋の土曜夜市」を開催中です。

今回が初めての開催となるこのイベントは、県内6校の高等学校と生徒個人グループが出店し、小学生など子どもたちが楽しめるゲームやワークショップ実施の他、開発したオリジナル商品などの販売を行います。

壱番街商店街東側では、ダンスイベントも開催され、老若男女問わず楽しめる内容となっています。皆様のお越しをお待ちしております！



開催日時　11月7日(土)・14日(土) 17時～19時30分

開催場所　高知市帯屋町1丁目商店街アーケード内

内　容　高校生による出店　約13ブース
ゲーム（射的、ヨーヨーすくい、お菓子つかみ取り等）
ワークショップ（キーホルダー、ジェルポット、土佐和紙アート作り等）



お問い合わせ先　高知県商店街振興組合連合会青年部　秋の土曜夜市実行委員会 事務局（古谷・野口）
TEL：088-845-8870

掲載無料

組合活動のPR、イベント、新商品のご紹介などの告知コーナーです。
中央会までどしどし情報をお寄せください！ E-mail:koho@kbiz.or.jp

高知県電気工事業工業組合青年部

KUMIAI information

光の芸術祭「百鬼夜灯（ひゃっきやとう）」を開催します！

高知県電気工事業工業組合青年部（片岡祥太部長）では、11月28日（土）・29日（日）の2日間、山内神社で光の芸術祭「百鬼夜灯」を開催します。

このイベントは、「光の美」をテーマに、電気工事の「技術」と高知県の伝統工芸・現代工芸を融合させた芸術作品を展示するものです。当日は、魑魅魍魎（ちみもうりょう）が描かれた行灯が参道を彩り、境内にはランタンの幻想的な灯りが広がります。また、多国籍料理を楽しめる屋台も出店予定です。

光と闇が織りなす幻想的な世界を、ぜひ会場でお楽しみください！



開催日時 11月28日（土）・11月29日（日） 17時～21時

開催場所 山内神社・鷹匠公園（高知市鷹匠町2丁目4－65）

入 場 料 500円（高校生以上）

※詳細・最新情報はInstagramからご確認ください。

高知県印刷工業組合

KUMIAI information

組合員向けセミナー「生成AI時代の印刷会社へ」を開催

高知県印刷工業組合（楠 淳一理事長）では、9月25日（金）、ちより街テラスで組合員向けセミナー「生成AI時代の印刷会社へ」を開催しました。

東京都で商業印刷とデザイン制作を手がける富沢印刷株式会社の富沢隆久氏を講師とし、「Adobe Firefly」をはじめとする生成AIの実践的な活用方法の他、個人情報の取り扱い、顧客への説明責任の重要性について説明いただきました。

また、生成AIを活用したデザイン制作支援ツール「Firefly Boards」を用いたデモンストレーションでは、「高知市のゆるキャラ制作」を題材に、仕様書をもとに複数の生成AIでデザイン案を生成し、その中から良い要素を人間が取捨選択する手法や、地域背景を踏まえたストーリーを作ることの大切さについての説明がありました。

生成AIを人間の創造性を補完する道具として捉え直し、顧客との関係強化につなげることの重要性を認識することができ、有意義な学びの場となりました。

高知県木製品工業連合協同組合

KUMIAI information

「ヒノキの『香り』を活かした高付加価値商品開発と販路拡大」セミナーを開催

高知県木製品工業連合協同組合（江西由紀理事長）では、10月7日（水）、高知会館で「ヒノキの『香り』を活かした高付加価値商品開発と販路拡大」セミナーを開催しました。

「香り」の専門企業である株式会社生活の木の平川知子氏を講師とし、ヒノキの香りが持つ市場価値と活用の可能性についてお話しいただきました。

セミナーでは、アロマ市場でヒノキをはじめとする和精油への注目が高まっていることや、香りが感情や記憶を司る脳の部位に直接働きかける仕組みの説明がありました。地域限定の商品が消費者の購買動機につながり、高知県産ヒノキも、文旦や柚子など県内の香り資源と組み合わせることで、観光客やインバウンド向けの土産品として展開できる可能性があることが分かりました。

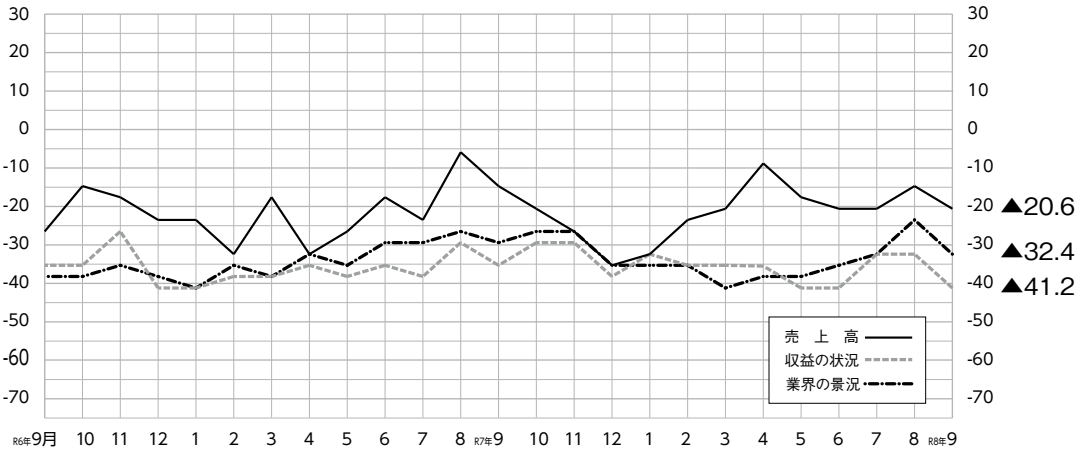
建材や木工品にとどまらないヒノキの新たな価値を再認識し、県産ヒノキの「香り」を活かした高付加価値商品の開発や販路拡大に向けて具体的なヒントを得る貴重な機会となりました。

情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2026年9月
（前年同月比）

情報連絡員報告

DI（景気動向指数）



業界の状況

…好転
…不変
…悪化

☀	**な し**

☁	**食品団地**	夏季需要が一服し、前月に比べ売上を落としている事業者がある。また、人手不足のため、こうした需要にも十分に対応できず、売上が伸び悩んでいる事業者も見られる。9月の景況感としては、全体的にはあまり変化が見られず、横ばいか、やや下降気味で推移している。秋の行楽シーズンが到来することから、より一層の観光需要に期待している。先行きについては、コスト上昇と価格転嫁の動向や、最低賃金アップに伴う賃金の状況への注視が必要。
	酒類製造	原料米については、主食用米の価格下落が続く中、来年度に向けた酒米の生産や供給体制への影響について、引き続き動向を注視していく必要がある。販売面では、現時点で大きな変動はなく、概ね前年並みで推移している。物価上昇に伴う消費者の購買動向への影響など、依然として厳しい環境が続いている一方、輸出は堅調に推移している。
	テントシート	原材料価格の高騰分について、販売価格へと転嫁が出来つつあると思われていたが、中東情勢により、6月1日から原油・ナフサ価格の上昇および石油化学製品の供給環境が悪化した影響で、全製品の大幅な価格改定（15%～25%）があった（品薄状態もしばらく続きそうである）。販売価格への転嫁にも厳しい状況が続くと思われる。
	木製品素材生産	9月期の原木出荷量は連休と天候不良もあり、多少減少気味となっている。丸太価格については下げ止まり状態から多少上向きになってきているが、全体的にはほぼ横ばいで推移。10月に入ってからは天候も落ち着いてきており、原木出材量は増加が予想される。また、丸太価格についても、秋需要を迎え、下げ止まり状態から良くなってくると思われる。しかしながら、製品の値動きが心配されるところである。
	建具	店舗向けのやや大きい現場があった。個人向けには住宅リフォームの小さい現場が多い。建具金物の真中製品が非常に値上がりした。
☁	**製紙（家庭紙）**	紙製品全体として、販売金額、生産量及び販売量は前月に続き前年同月比で増加した。また、品目別では、雑種紙において、前年同月比で販売金額、生産量及び販売量ともに増加した。衛生用紙は、販売金額及び販売量は前年同月比で減少したが、生産量はほぼ前年並みとなった。
	製紙（手すき和紙）	和紙全体として前年同月の売上は横ばいであるが、動きが鈍く先行きは依然として不透明な状況。
	印刷	久しぶりに売上、操業度ともに昨年を上回る。県内需要はよさこい文化祭の特需と用紙等の値上げの影響もありユーザーからの仮需があった。また、県外需要も比較的好調だったもよう。
	コンクリート製品	対前年同月比153.0%と、前年度より出荷量が多くなっている。本年度の公共事業費は横ばいであることから、組合員の増加に伴う影響と分析している。
	刃物製造	9月は県内への卸販売は低調で、昨年度より大きく下回ってしまった。その反面、県外への販売、小売販売は昨年を上回り、総合的にはほぼ昨年と同じである。
	機械団地	原材料高や人手不足などのマイナス要因が継続するなか、団地内の業況に特段の好材料はなく、足踏みの状態が続いている。
	船舶製造	9月は製品の出荷が無かったため売上が減少した。千葉県の水害の影響により、鋼板（耐摩耗）の生産が止まっているようである。長期化するようであれば代替品が必要となるが、価格が高いようである。また、副資材、油脂類も値上がりするという予測がある。
	珊瑚装飾品製造	9月度の取引額は、前年同月比で84%となり、4カ月連続で前年を下回った。

	青果卸売	9月の取扱高は組合員全体で前年対比104.5%となった。5カ月連続で前年を上回ったが、相場高騰による影響が大きかった。今年の1月から9月までの累計でも101.5%に上昇したが、各社のばらつきも見られる。品物も増える10月に期待。
	生鮮魚介卸売	9月はカツオが順調に入荷し、売上額は増加した。カツオ以外の魚種・量ともに少なくなってきた。
	各種小売（四万十町）	特段の動きなし。嬉しい知らせでもあればいいのだが、特にない。今年は季節外れの長雨で米の出来が悪いという話をよく聞く。日本カードに確認したところ、現在しばてんカード（協）が使用しているＶ２端末は、最新のＶ３端末と混ぜての稼働ができるもよう。ただし高価なため、依然として組合の状況は厳しい。
	中古自動車小売	全体の流通量も増加し、高年式車両など幅広い年式、車種が揃っている。需要が高い高年式車両は、相場が高止まりではあるが、良質車両が多く仕入れしやすい。普通車、軽自動車ともに高年式車両に販売が集中している。
	商店街（高知市）	人流カメラによる集計では、2026年9月の来街者数は5地点すべてで前年同月を上回り、特に大橋通り商店街は22%増、帯屋町一丁目商店街は14.7%増、帯屋町壱番街商店街は13.6%増と大きく伸びた。9月20日の「高知街ラ・ラ・ラ音楽祭2026」では、前年の同イベント開催日と比べて全地点で人流が増加し、特に大橋通りへの波及が目立った。また、9月26日・27日の「高知大道芸フェス2026」は、5地点合計で前年同イベント比1.7%増となり、商店街4地点で前年を上回った。さらに、9月27日はクルーズ船2隻の寄港やイベントが重なり、商店街各所で大きな伸びが見られた。9月29日のダイヤモンド・プリンセス寄港日にも複数地点で増加しており、イベントと観光客の街なか回遊が月全体の人流増加を後押しした。
	旅行業	組合クーポン前年同月対比89%。全旅クーポン合算後、前年対比84%。
	IT事業	今月の売上は前月よりも下がり、例年と比較すると3カ月連続で低い状態が続いている。例年、年末に向けて需要が拡大し、売上高も伸びていく傾向にあるため、年末にかけての新規受注に期待したい。
	一般土木建築工事	工事の発注数は例年通りであるが、資材の価格高騰により収益率が悪化してきている。
	電気工事	組合員の施工する電力引込線工事量は、前年同月比210%となった。香長地区が57%となったものの、高知中央地区が270%と大幅に増加した。
	タクシー	実働1日1車当りの前年同月対比運送収入：102.6%、回数：104.6%、実働率：49.4%。相変わらず高知新港に大型客船が寄港しており、タクシーの需要がかなりあるのに車が足りず、ずいぶんお客様にご迷惑をおかけしている。客船寄港の際の需要が収入に寄与している。

	製材	資材価格や物流コスト等の上昇により、収益確保が更に厳しくなっているとの声が多い。
	生コンクリート製造	9月度単月の組合員工場の出荷量は対前年比86.6%、4月からの累計出荷量は87.9%と、単月は減少しているが、累計出荷量は前月と概ね横ばい傾向であった。地域的には、中部、高幡地区の減少傾向が続いている。
	卸団地	今年のシルバーウイークは、暦の上で大型連休となり、天候もそこそこであったため昨年より観光、外食関係の売上は好調であった様子。しかし物価高の影響により、利益が大きく出ているとは言い難い状況である。仕入商品の値上げが続いている。業界全般に景気好転は見られない。
	電気機械器具小売	9月度は全商品平均で前年比94%、4K8Kテレビ前年比88%、スタンダードプランエアコン前年比105%、白物家電前年比92%、リフォーム全般で前年比95%であった。
	ガソリンスタンド	イランが米国に対して海上封鎖の解除など7つの条件を提示した一方、米国はこの受入れを拒否したことが相場を押し上げたが、制裁緩和や凍結資金の開放する用意があると報道されたことが上がり値を圧迫することとなった。9月の仕切り価格は18.5円／Lの値上げだが、政府の補助金により市況はほとんど変動はない。9月末現在の政府の補助金合計は50.7円／Lと、大きな金額のままである。
	商店街（安芸市）	10月25日（日）開催の商い甲子園への出場チームが決定し、店舗位置を決める「店舗抽選会」が行われた。今年の出場数は、11校20チームに加え石川県輪島高校を特別招待。高知県立室戸高等学校と徳島県立小松島西高等学校が初出場。
	商店街（四万十市）	人通りは少なく、ますますの景気の落ち込みを感じる。8月20日には四万十よさこいが開催され、大いに街を賑やかにしてくれた。かなりの経済効果があったと思う。気持ちを明るくすることは頑張ろうという気持ちにも繋がり、街全体・商店街にとっても良いイベントだと思う。
	旅館・ホテル	前年に比べてやや低調となった。下期の行楽シーズンの受注状況は順調。
	飲食店	9月はシルバーウイークに多くの人の動きがあり集客は前年度を上回った。特に高知市中心街や観光地が好調だった。当然、売上高も前年同月と比べ増加しているが、物価高に対して業界の価格転嫁力は弱く、売上を圧迫している。集客、売上ともに好調でも業界の景況は悪化している。前年度同月に比べ更に物価は高騰。光熱費、仕入れ価格、人件費、すべての経費が上昇しているが、顧客離れによる集客の低下の懸念から業界の価格転嫁は十分ではない。
	クリーニング	秋冬の衣替え前の時期であり、需要は少ない時期だが、物価高や天候の影響か、減少傾向が続いている。対して石油系溶剤、灯油などエネルギー価格は上昇しており、経費は高止まっている。人手不足も深刻。ホームクリーニングの事業所数及び店舗数は徐々に減少しており、県内でクリーニング空白地区がさらに広まっていく傾向にある。リネン・ユニフォーム関連は堅調。
	一般貨物自動車運送	燃料価格は石油製品自体が週決めで後半高騰したが、政府補助金の大幅増額により１カ月平均で実質前月価格と同等となった。荷動きが９月になっても鈍いうえに、台風等の災害の影響が心配される。

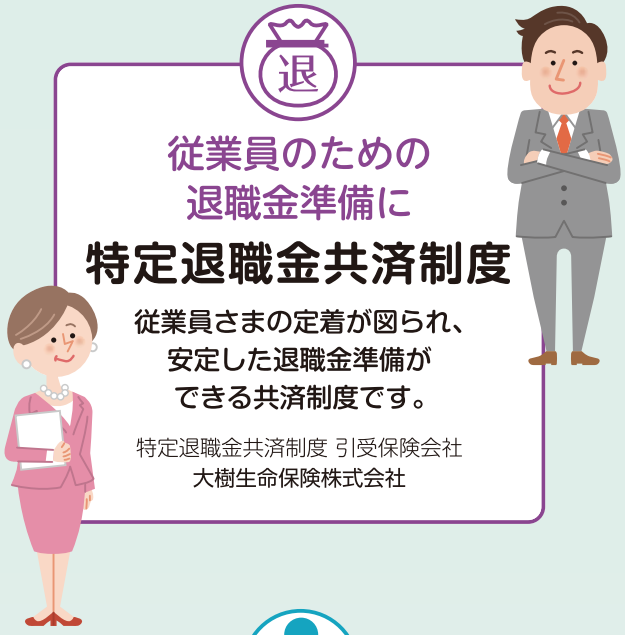
経営者・役員・従業員とそのご家族の安心の保障を準備するために中央会の共済制度をご活用ください。

BESTパートナー
大樹生命

従業員のための退職金準備に
特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
大樹生命保険株式会社

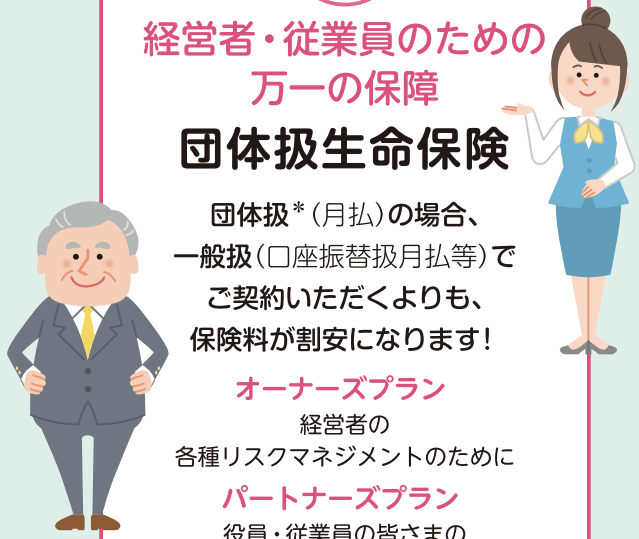


経営者・従業員のための万一の保障
団体扱生命保険

団体扱＊（月払）の場合、
一般扱（口座振替扱月払等）で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります！

オーナーズプラン
経営者の
各種リスクマネジメントのために

パートナーズプラン
役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート

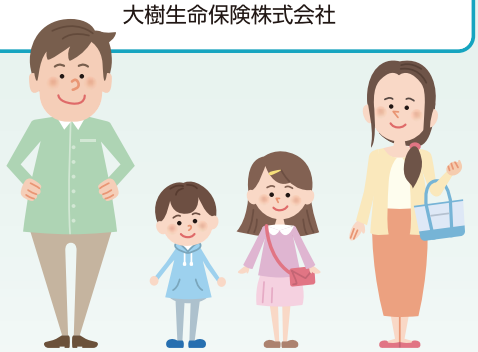


業務上の災害への備えに
業務災害補償保険

事業活動にかかわる
従業員さまのケガなどのリスクに
対してお役に立つ保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社

業務災害補償保険 取扱代理店
大樹生命保険株式会社





＊ 団体扱とは、高知県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。

※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書（契約概要）」「特に重要な事項のご説明（注意喚起情報）」「ご契約のしおり－約款」および高知県中小企業団体中央会の「退職金共済規程（規約・規則）」等を必ずご覧ください。

大樹生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の代理店・扱者として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社　高知営業部
〒780-0053 高知県高知市駅前町1-8 第7駅前観光ビル2F TEL：088-882-3402
https://www.taiju-life.co.jp/

大樹-KB-2023-432（損保）A-2023-112（2023.9）
R-2023-1009（2023.9）

制作発行
人を継ぎ、組織を育む
高知県中小企業団体中央会
〒781-5101 高知市布師田3992-2 中小企業会館４階
TEL 088-845-8870 FAX 088-845-2434
URL https://www.kbiz.or.jp E-mail info@kbiz.or.jp
※組合等活性化情報誌「へんしも情報」は、環境に配慮した植物性インキを使用しております。